

～専門家だけに任せない～

学んで作る 自分が“選択”するメンタル・ヘルス

## 日本の精神医療を学び、メンタル・ヘルスを考える

日時 : 2017年8月13日(日) 15:00~18:00

場所 : カトリック相模原教会(淵野辺駅・矢部駅徒歩10分ほど)

電話 042-755-9318 相模原市矢部 4-13-1



講師 : 中川聡氏(全国オルタナティブ協議会) 体験談発表者 : 小田和夫氏

15:00~18:00 : 勉強会 1,200円(資料代・飲物代含む)

18:00~ : 懇親会 300円(軽食付) \*懇親会のみは500円

※ 勉強会・懇親会共に要予約(食事準備のため、事前申込をお願いいたします)

申込・問い合わせ先 : 個育て地域育ちを進める会(もざいくハウス内)

[mosaiclife2014@gmail.com](mailto:mosaiclife2014@gmail.com)

090-2096-4835

日本では2004年に精神保健医療福祉の改革ビジョンが出されたにも関わらず、現在、精神病院に入院している患者数は30万人いると言われていています(厚労省HP)。福島では震災原発事故により精神病院が閉鎖。その時に地域へ移行していった方の中には30年、40年精神病院に入院を強いられていた方も少なくはありません。閉鎖後、グループホーム、借家暮らしをしている人たちがいます。では精神病院での治療とは何だったのでしょうか。そもそも精神障がい者、精神疾患とはどのような状態をさすのでしょうか。そして治療で改善するはずが、患者数が増えている、長期入院が減らないのはなぜでしょうか。初回は全国で同様な勉強会やサードオピニオン会を開催している中川氏から、精神医療の現状と、医療以外の精神保健、メンタル・ヘルスの在り方についてお話いただきます。また精神医療体験者で小田氏からは精神医療にかかったきっかけ、受診した精神科治療、そして減断薬も含めた体験の話を伺います。その後は会場の皆さんとの意見交換を行います。

中川聡氏 : オルタナティブ協議会代表。家族の薬物中毒死をきっかけに、精神医療に疑問をもち被害者活動に従事。精神医療被害連絡会を設立。市民を中心としたリカバリーを实践するオルタナティブ活動を提案中。ブログ「メンタルヘルスの罫」。マスコミ各社への情報提供、コメンテーターとしてTV出演。

小田和夫氏 : アルコール依存症の回復途中(アルコール依存症は治癒がないから、薬物も同じ)、断酒歴7年半。向精神薬断薬中7カ月。

\* ボランティア募集 : 親や子どもの支援や応援、駆けつけ対話、日常生活応援、ワンストップ相談などに関わってくださる方。興味、関心のある方は担当までご連絡ください。

もざいくハウス 林 TEL : 090-2096-4835 メールアドレス : [mosaiclife2014@gmail.com](mailto:mosaiclife2014@gmail.com)